

③ ステージ

使用回数 11回 { 小・中・高 8回  
大学・一般 3回

④ 会議室

使用回数 8回 (一般のみ)

(3) 個人使用 (1回1時間)

使用回数 520回 { 小・中学生 66回  
高校生 172回  
大学・一般 282回

2 野球場 (使用回数)

使用時間	高校	一般	計
1時間	一回	6回	6回
2	1	16	17
3	—	14	14
4	—	2	2
5	1	7	8
6	—	4	4
7	3	5	8
8	1	6	7
9	1	1	2
合計	7	61	68

3 競技場

(1) 使用回数 (貸切り)

使用時間	中・高	一般	計
1時間	16	14	30
2	10	5	15
3	3	2	5
5	1	7	8
6	—	4	4
7	1	2	3
8	—	3	3
合計	31	37	68

(2) 個人使用 (1回1時間)

1608回 { 小・中・高 313回  
大学・一般 1,295回

### 第3節 主催行事

福島県営体育館が主催行事として開催した状況は、つぎのとおりである。

#### 1 レクリエーション指導者講習会 (フォークダンス)

主催 福島県教育委員会

福島市教育委員会

福島県レクリエーション協会

日時 昭和40年3月20日(土)12時~16時

場所 福島県営体育館

講師 日本フォークダンス連盟公認指導員

三河 正

安田 秀夫

佐藤 京子

県教委事務局保健体育課体育係長

佐々木 英雄

県教委事務局保健体育課指導主事

石井 源次

県営体育館兼主事 荒井 信夫

レクリエーション活動の中軸となっているフォークダンスの講習会を開催し、その実技の研修をとおして指導者の養成をはかることを趣旨とし、婦人会、青年会、その他職域代表などを対象に実施した。実技は民踊の部(40名)フォークダンスの部(30名)に分けて、それぞれの練習の後、発表会を行ない散会した。

#### 2 卓球教室

主催 福島県営体育館

福島市教育委員会

福島市中学校体育連盟

福島市児童館

日時 昭和40年3月25・26日30日 9時~16時

場所 福島県営体育館

講師 福電興業 伊藤 秀行

福島大学 深谷 秀三

〃 蓬田 信義

福医大事務局 古山 浩

東亜栄養 小原 公子

〃 野呂 敏子

補助員 成蹊女子高、緑ヶ丘高卓球部員

25日、26日は午前中市内中学校卓球部員、午後は県北高校卓球部員を対象に、基礎技術からゲームまで、14面のコートを使用して技術の向上を図った。中学校100名、高校70名の参加者を見てこういった教室の必要性を痛感した。特に中学校の部は他校との交流の機会が少なく、このような行事により他との交流を図ることが技術の向上に役立つものと思われる。30日は市内の少年会対象に、午前は基礎練習、午後対抗試合を行なった。学校でクラブに所属していない者を対象にしたため、ラケットの持ち方からゲームのやり方まで短時間であった上に、300名72チームという多人数で徹底しない面もあったが、今後のスポーツ活動にじゅうぶん効果があったと思われる。